

事務連絡
令和5年9月4日

公益社団法人全日本病院協会 御中

厚生労働省医政局看護課

「55歳以上の看護師等の就業促進に係る好事例収集事業」における
アンケート調査へのご協力のお願い

看護職員の確保の推進につきましては、平素より格別のご協力とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、令和5年度看護職員確保対策特別事業として、55歳以上の保健師、助産師、看護師及び准看護師（以下、「55歳以上の看護師等」という。）の就業促進に係る好事例収集事業を実施することになりました。

この事業は55歳以上の看護師等の就業継続や再就業を効果的に推進するため、主に看護業務を行う55歳以上の看護師等の雇用の実態及び看護師等に対する支援の実態を明らかにするとともに、病院等における55歳以上の看護師等の確保及び就業継続に関する好事例を収集・周知することで、今後の確保策検討のための一助とすることを目的としております。

つきましては、アンケート調査について事業実施者（株式会社日本能率協会総合研究所）より貴会宛てにご依頼致しますので、会員様への周知と本事業へのご協力を何卒お願い申し上げます。

<照会先>

厚生労働省医政局看護課

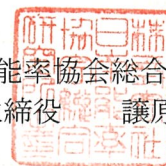
阪井・吉松

TEL（代表）03-5253-1111（内線 2599）

令和5年9月1日

公益社団法人全日本病院協会
会長 猪口 雄二 様

株式会社日本能率協会総合研究所
代表取締役 譲原 正昭



令和5年度厚生労働省看護職員確保対策特別事業
「55歳以上の看護師等の就業促進に係る好事例収集事業」
アンケートご協力のお願い

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では標記事業について、厚生労働省から採択いただき、標記事業に着手したところですが、今後、労働人口の減少により、保健師、助産師、看護師、准看護師（以下、「看護師等」という。）の新規養成数や就業数が減少することが予想される一方、医療・介護ニーズのある高齢者数は上昇を続ける見込みであり、看護職員の安定確保が課題となっております。本事業では、55歳以上の看護師等の定年後における就業継続や再就業を効果的に推進するため、主に看護業務を行う55歳以上の看護師およびその就業機関に対しアンケート調査を実施させていただくこととしております。

調査を行うことで、就業継続や再就業の実態を明らかにするとともに、定年後も継続して就業いただくための好事例を収集し、今後の看護職員確保対策の一助とすることを目的としております。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮に存じますが、本調査の意義をご理解いただき、「55歳以上の看護師等の就業促進に係るアンケート調査」へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

【調査概要】

調査名：「55歳以上の看護師等の就業促進に係るアンケート調査」

調査対象：①55歳以上の看護師等が在籍する施設・事業所（施設・事業所調査）

②勤務する55歳以上の看護師等（看護師調査）

※添付の調査票をご参照くださいませ

調査時期：令和5年9月15日（金）～10月10日（火）17:00締切

調査方法：WEBによるアンケート調査

回答はこちらから <https://www.jmar-llg.jp/kango23004/>

「jmar」で検索し、日本能率協会総合研究所のホームページ「ニュース&トピック」から、「55歳以上の看護師等の就業促進に係るアンケート調査」の窓口にお入りいただけます。窓口には、調査票（PDF）を掲載しておりますので、回答前に調査内容をご確認いただけます。



【本調査に関する問合せ先（本調査研究事業の採択事業者）】

〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル5階

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

本件担当：川村、政岡

電話：フリーダイヤル0120-003-185または03-3578-7135（平日10～17時）

e-mail：info102@jmar.co.jp <http://www.jmar.co.jp>

参考資料

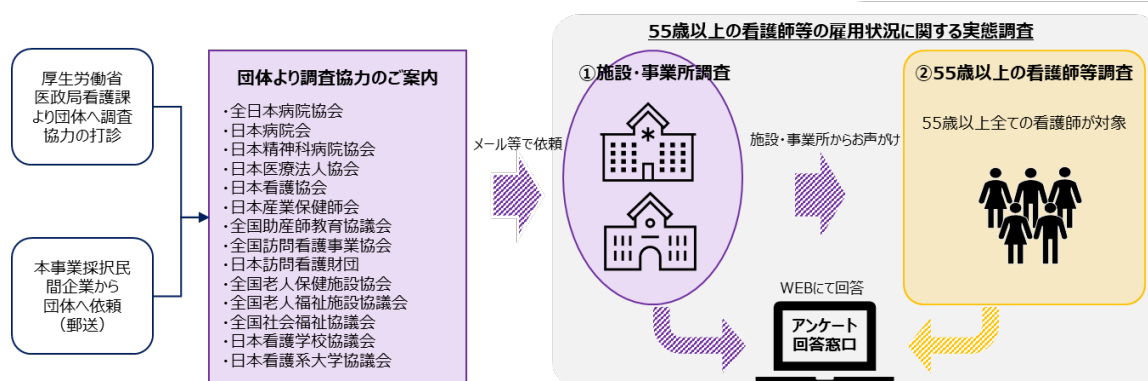
厚生労働省 医政局看護課

「55 歳以上の看護師等の就業促進に係る好事例収集事業」

55 歳以上の看護師等の雇用状況に関する実態調査

施設・事業所調査

※調査の実施方法は以下の通りです。



※調査は WEB にて実施させていただきます。そのため、お送りしております本調査票とは見え方が異なります。


※本調査には、一時保存機能がついておりません。大変お手数ではございますが、アンケート回答窓口にて PDF をご用意しておりますので、事前に内容をご確認いただき、回答をお願いいたします。

I 基本情報

問 1 貴施設・事業所の所在地を教えてください。(1つ選択)
所在地 () 都道府県 [【プルダウン】](#)

問 2 貴施設・事業所について伺います。

問 2-1 種別を教えてください。(1つ選択)

- 1 病院 400 床以上
 - 2 病院 200 床以上～399 床以下
 - 3 病院 20 床以上～199 床以下
 - 4 一般診療所 (有床)
 - 5 一般診療所 (無床)
 - 6 訪問看護ステーション
 - 7 介護老人保健施設
 - 8 介護老人福祉施設
 - 9 介護療養型医療施設
 - 10 介護医療院
 - 11 上記以外の介護サービス施設・事業所
 - 12 社会福祉施設 (介護サービス施設・事業所は除く)
 - 13 地方公共団体 [→問 3 へ](#)
 - 14 看護師等学校養成所 [→問 2-2 へ](#)
 - 15 その他 () [→問 3 へ](#)
- 

問 2-2 看護師等学校養成所の種類を教えてください。(複数選択可)

- 1 高校衛生看護科
- 2 准看護師養成所
- 3 看護師 2 年課程 (専攻科含む)
- 4 看護師 3 年課程
- 5 看護師 5 年一貫教育校
- 6 保健師養成所
- 7 助産師養成所
- 8 看護系短期大学
- 9 看護系大学
- 10 看護系大学院修士課程
- 11 看護系大学院博士課程
- 12 その他 ()

→問 5-1 で 2 または 5 と回答している場合は、問 12 へ

<継続雇用制度を採用している施設・事業所が回答（問 5-1 で 1,3,4,6 と回答）>

問 6 再雇用制度の導入状況を教えてください。

- 1 導入（上限あり） ⇒上限（ ）歳
- 2 導入（上限設定なし）
- 3 導入していない →問 8 へ

問 7 再雇用制度を導入している施設・事業所に伺います。

問 7-1 再雇用適用者のおおよその年収[※]を教えてください。なお、1 人しかいない場合には、

①のみ回答してください。（数字を入力）

※年収には、貴施設・事業所が支給する賃金・賞与のほか、貴施設・事業所から支給される企業年金、公的給付（在職老齢年金・高年齢雇用継続給付）も含む

- ①最も低い年収 約（ ）万円
- ②最も高い年収 約（ ）万円

問 7-2 再雇用制度の賃金を検討する際、何を参考に決めましたか。（複数選択可）

- 1 他施設・事業所の状況
- 2 再雇用制度に該当する看護師等の年齢の市場賃金・相場
- 3 60歳到達時の賃金水準
- 4 自施設・事業所の初任給水準
- 5 所在地域の最低賃金
- 6 個人の知識・技能・技術
- 7 その他（ ）

問 7-3 定年年齢前の職員に対し、再雇用制度の説明会を開催していますか。説明会を開催している場合に、どのような内容を説明しているか教えてください。（複数選択可）

- 1 再雇用契約の有無
- 2 雇用契約期間
- 3 雇用形態（正規・非正規等）
- 4 賃金水準
- 5 労働時間、労働日数
- 6 勤務部署
- 7 仕事内容
- 8 年金など公的給付の状況
- 9 評価方法について
- 10 その他（ ）
- 11 特に説明会は開催していない

問 7-4 定年年齢前の職員に対し、定年後の雇用を円滑に進めるため、能力開発（研修）を実施していますか。能力開発（研修）を実施している場合に、どのような目的で実施しているか教えてください。（複数選択可）

- 1 再雇用における基本的な心構えを学ぶ
- 2 これまで蓄積してきた知識・技能・技術をさらに伸ばす方法を習得する
- 3 職場で求められる新しい知識・技能・技術を習得する
- 4 職場で求められるマナーや円滑なコミュニケーション方法を習得する
- 5 管理職経験者に対する意識改革（管理職気質からの脱却）
- 6 その他（ ）
- 7 特に実施していない

問 7-5 再雇用制度適用者を配置する際は、どのような点に配慮していますか。（複数選択可）

- 1 本人の希望
- 2 慣れている仕事に継続して配置すること
- 3 肉体的に負担の少ない仕事に配置すること

- 4 設備や作業環境の改善
- 5 マニュアルや作業指示書の改善
- 6 労働力が不足している部署に優先的に配置すること
- 7 知識・技能・技術の継承が円滑に進むようにすること
- 8 従業員が互いに気兼ねをしないように配置すること
- 9 腰痛や認知症など特別な健康診断の実施
- 10 その他（ ）
- 11 特に配慮していることはない

問 8 勤務延長制度の導入状況を教えてください。

- 1 導入（上限あり） ⇒ 上限（ ）歳
- 2 導入（上限設定なし）
- 3 導入していない →問 10 へ

問 9 勤務延長制度を導入している施設・事業所に伺います。

問 9-1 勤務延長制度に適用者の条件はありますか。（複数選択可）

- 1 定年前の役職 ⇒（ ）以上
- 2 定年前の勤続年数 ⇒（ ）年以上
- 3 その他（ ）
- 4 特に条件はない

問 9-2 勤務延長適用者のおおよその年収[※]を教えてください。なお、1 人しかいない場合には、①のみ回答してください。

※年収には、貴施設・事業所が支給する賃金・賞与のほか、貴施設・事業所から支給される企業年金、公的給付（在職老齢年金・高齢雇用継続給付）も含む

- ①最も低い年収 約（ ）万円
- ②最も高い年収 約（ ）万円

問 10 貴施設・事業所では平成 25 年 3 月 31 日までに労使協定により継続雇用制度適用者の基準を定めていましたか。（1 つ選択）

- 1 定めていた
- 2 定めていない

問 11 **今後 3 年以内**に継続雇用制度を導入・改定する予定はありますか。（1 つ選択）

- 1 導入・改定する予定あり
- 2 導入・改定予定なし
- 3 わからない

IV55 歳以上の看護師等の継続雇用促進や中途採用の取組について

問 12 貴施設・事業所では、**55 歳以上の看護師等が働きやすい職場とするために**、どのような職場環境整備を行っていますか。①実際に取組んでいる取組（複数選択可）、②実施の有無にかかわらず、効果があると考える取組（上位 5 つまで）を教えてください。

	① 実際に取組んでいる	② 実施の有無にかかわらず効果があると考える取組
1 労働時間や労働日数など本人が希望する働き方ができるよう配慮している	1	1
2 介護など家庭の事情や本人の健康上の問題を考慮した働き方を認めている	2	2
3 慣れている仕事に継続して配置している	3	3
4 配属部署の配置換えをしている	4	4
5 肉体的に負担の少ない仕事に配置している	5	5
6 若手やミドル層のサポートやバックアップとして配置している	6	6
7 メンタルバランスが維持されているか定期的に確認している	7	7
8 腰痛や認知症など特別な健康診断を実施している	8	8
9 業務改善等業務負担を軽減する取組を進めている	9	9
10 設備や作業環境の改善を進めている	10	10
11 研修等スキルの維持・向上を支援している	11	11
12 上司と定期的に話し合える・相談する場を設けている	12	12
13 管理職経験者の意識改革研修を行っている	13	13
14 役職定年制度を導入している	14	14
15 いずれも取組んではいない	15	

問 13 過去 10 年間（2013～2022 年度）に、55 歳以上の看護師等を中途採用したことがありますか。また、2022 年度の各年齢層別に採用人数を教えてください。採用がない場合には、「0（ゼロ）」と入力してください。

	2013～2022 年度の 中途採用実績の有無 (正規・非正規問わず)		2022 年度中途採用 人数 (正規・非正規問わず)
55～60 歳未満	1 ある	2 ない	人
60～65 歳未満	1 ある	2 ない	人
65 歳以上	1 ある	2 ない	人

＜中途採用実績のある施設・事業所が回答＞

問 14 55歳以上の中途採用を拡大するには、どのようなことを考慮する必要があると考えますか。（各年齢層で複数選択可）

	中途採用時の年齢→	55～60歳 未満	60～65歳 未満	65歳以上
施設・事業所	55歳以上の者の仕事の確保	1	1	1
	施設・事業所全体の年齢構成	2	2	2
	施設・事業所全体の人件費の増加	3	3	3
	管理職との人間関係	4	4	4
	管理職以外との人間関係	5	5	5
	役割と責任の明確化	6	6	6
中途採用者自身	本人の意欲、モチベーションの維持・向上	7	7	7
	本人の健康状態	8	8	8
	本人の家庭の事情（介護など）	9	9	9
	本人が希望する賃金との折り合い	10	10	10
	本人の希望する働き方への対応	11	11	11
	本人の知能・技能	12	12	12
	本人のコミュニケーション能力	13	13	13

V 65歳以上の看護師等の就業促進について

問 15 貴施設・事業所では65歳以降も働き続けることはできますか。（1つ選択）

- 1 65歳以降は働くことができない →問 17へ
- 2 65歳以降は希望者のうち基準に該当した者のみ働くことができる
- 3 65歳以降も希望者全員働くことができる →問 20へ

問 16 その基準はどのようなものですか。（複数選択可）

- 1 働く意思・意欲があること
- 2 出勤率・勤務態度に問題がないこと
- 3 健康上支障がないこと
- 4 現職を継続できること
- 5 施設・事業所が提示する職務内容に合意できること
- 6 施設・事業所が提示する労働条件（賃金の低下を含む）に合意できること
- 7 組織に必要な知識・技能・技術をもっていること
- 8 看護関係資格以外に専門的な資格をもっていること
- 9 他の社員を指導・教育できること
- 10 一定の業績評価を出し続けていること
- 11 定年年齢直前の役職
- 12 特定健康診断の結果
- 13 その他（ ）

問 17 現在、65 歳から 70 歳までの就業機会を確保するため、高年齢者就業確保措置として、以下に挙げるいずれかの措置を講ずる努力義務が新設されました（令和 3 年 4 月 1 日施行）。

～70 歳までの就業機会の確保（努力義務）～

- ①70 歳までの定年引き上げ
- ②定年制の廃止
- ③70 歳までの継続雇用制度（再雇用制度・勤務延長制度）の導入
- ④70 歳まで継続的に業務委託契約を締結する制度の導入
- ⑤70 歳まで継続的に以下の事業に従事できる制度の導入
 - a.事業主が自ら実施する社会貢献事業
 - b.事業主が委託、出資（資金提供）等する団体が行う社会貢献事業

問 17-1 貴施設・事業所では、65～70 歳の高年齢看護師の就業確保措置の実施または予定がありますか。（1 つ選択）

- 1 実施済
- 2 実施を予定している
- 3 実施の予定はない →問 18 へ

問 17-2 65～70 歳において就業確保措置が必要と考える理由は何ですか。（複数選択可）

- 1 高年齢者の就業確保は社会的な要請だから
- 2 看護師等は専門職であり、年齢は関係ないため
- 3 意欲と能力があれば、年齢は関係がないため
- 4 今まで身につけた知識・技能・技術を活用したいため
- 5 職場の状況を熟知しているため
- 6 看護師等の人材確保が困難なため
- 7 比較的安い賃金で雇用できるため
- 8 若年層に対する教育・指導が期待できるため
- 7 若年層・壮年者の採用が少ないため
- 8 その他（ ）

問 17-3 65～70 歳の高年齢看護師の就業確保措置の実施または予定のために、貴施設・事業所で、すでに実施または予定している取組を教えてください。（複数選択可）

- 1 継続雇用者の処遇改善
- 2 設備や作業環境の整備
- 3 適職の開拓
- 4 教育訓練の強化・充実
- 5 新たな勤務シフトの導入
- 6 高年齢者の健康確保措置
- 7 施設・事業所全体の人事制度の見直し
- 8 施設・事業所全体の賃金制度の見直し
- 9 新卒者や中途採用者の採用計画の見直し
- 10 退職金制度の見直し
- 11 その他（ ）
- 12 特にない

→回答後は問 19 へ

<問 17-1 で「3 実施の予定はない」と回答した施設・事業所が回答>

問 18 努力義務への対応を予定しない理由を教えてください。(複数選択可)

- 1 労働生産性が低くなるため
- 2 新しい知識・技能・技術への対応力が低くなるため
- 3 仕事に対する意欲が低下するため
- 4 協調性・組織忠実性・コミュニケーション等の問題が出てくるため
- 5 病気や労災事故のリスクが高くなるため
- 6 高齢者は能力などに個人差が大きく、労働条件や処遇などの個別対応がしきれないため
- 7 特に雇用が困難な理由はないが、看護師等の世代交代をしたいため
- 8 特に雇用が困難な理由はないが、一般的に仕事の引退時期と考えているため
- 9 その他 ()

問 19 65 歳以降の就業機会を確保するための課題を教えてください。(複数選択可)

- 1 高齢看護師の担当する仕事を施設・事業所内で確保するのが難しい
- 2 関連施設・事業所等に、高齢看護師の雇用の場を確保するのが難しい
- 3 高齢看護師の活用にもつた設備や作業環境の整備が進まない
- 4 高齢看護師を活用するノウハウの蓄積がない
- 5 管理職であった者の扱いが難しい
- 6 定年後も雇用し続けている従業員の処遇の決定が難しい
- 7 65 歳以降の雇用確保措置について、労働組合、従業員代表などの理解がなかなか得られない
- 8 高齢看護師のモチベーション低下による若年層・壮年層への悪影響の懸念
- 9 若年層・壮年層の就労希望者の採用ができず、年齢構成がいびつになる
- 10 人件費負担が増える
- 11 労働意欲が低い
- 12 生産性が低い
- 13 その他 ()
- 14 特に課題はない

VI 各種支援制度

問 20 高齢者雇用に関する国（独立行政法人を含む）の各種支援制度についてお聞きします。「高齢者雇用継続給付」「特定求職者雇用開発助成金」「高齢者雇用安定助成金」などの各種支援制度について①認知状況、②利用状況をご記入ください。

	①認知状況			②利用状況	
	知らない	知っている		利用した	利用していない
1 高齢者雇用継続給付	1	2	→	1	2
2 特定求職者雇用開発助成金	1	2	→	1	2
3 65 歳超雇用推進助成金	1	2	→	1	2
4 労働移動支援助成金	1	2	→	1	2
5 高齢・障害・求職者支援機構の高齢者雇用アドバイザーによる相談・助言	1	2	→	1	2
6 高齢者雇用優良企業の表彰	1	2	→	1	2

※厚生労働省等の高齢者等の雇用の促進に際して、以下の各種制度があります。

- * 高齢雇用継続給付とは、60 歳到達時等の時点に比べて賃金が75%未満に低下した状態で働き続ける60 歳以上65 歳未満の者に支給される給付のこと。
- * 特定求職者雇用開発助成金とは、高齢者や障害者等の就職困難者をハローワーク等の紹介により、継続して雇用する労働者として雇い入れる事業主に対する助成制度。
- * 65 歳超雇用推進助成金とは、高齢者の活用促進のための雇用環境整備の措置等を実施する事業主に対して助成する制度（高齢・障害・求職者雇用支援機構）。
- * 労働移動支援助成金とは、事業規模の縮小等により離職を余儀なくされる労働者や高齢者等に対する再就職支援を職業紹介事業者への委託等により行う事業主に対する助成制度。
- * 高齢者雇用アドバイザーによる相談・助言とは、高齢者雇用アドバイザーが高齢者の雇用に関する事項について、具体的かつ実際の相談、助言を行うこと（高齢・障害・求職者雇用支援機構）。
- * 高齢者雇用優良企業の表彰とは、高齢者の雇用について先進的かつ積極的に取り組んでいる企業等に対し、厚生労働大臣等が表彰を行う事業のこと。

問 21 今後、高齢者看護師をより一層活用するにあたって、国からどんな支援や助成措置が必要ですか。具体的にご記入ください。

VII インタビューご協力のお願い

55 歳以上の看護職が、定年後も働き続けるため、どのような環境整備が必要か、記載いただいた内容についてインタビューをさせていただきたいと考えています。

インタビュー所要時間は 1 時間程度、Zoom 等を使いリモートにて実施させていただきます（アプリ等のダウンロードは不要）。インタビューの内容については、内容をご確認いただいた上で厚生労働省の報告書に掲載、また今後の資料として活用させていただきます。

【問い合わせ先】

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 日本能率協会ビル 5F

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部 本件担当：川村、政岡

電話.0120-304-603 または 03-3578-7677（平日 10-17 時のみ）

問 22 貴施設・事業所の意向を教えてください。

- 1 日にちが合えば**インタビュー**を受けてもよい
- 2 **インタビュー**は辞退する →終了

問 23 ご連絡先をお知らせください。なお、お預かりした個人情報は、本件以外には使用いたしません。

お名前（ふりがな）	
ご所属機関・お役職	
連絡が取れる職場のお電話番号	
メールアドレス	

ご協力ありがとうございました。

参考資料

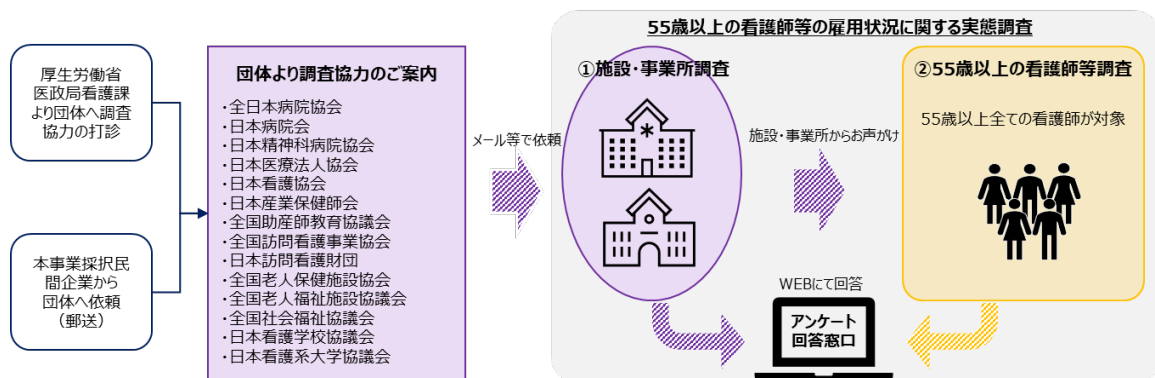
厚生労働省 医政局看護課

「55 歳以上の看護師等の就業促進に係る好事例収集事業」

55 歳以上の看護師等の雇用状況に関する実態調査

55 歳以上の看護師等調査票

※調査の実施方法は以下の通りです。



※調査は WEB にて実施させていただきます。そのため、お送りしております本調査票とは見え方が異なります。

※本調査には、一時保存機能がついておりません。大変お手数ではございますが、アンケート回答窓口にて PDF をご用意しておりますので、事前に内容をご確認いただき、回答をお願いいたします。

I 基本情報

問 1 年齢を教えてください。(数字を入力)
() 歳

問 2 性別を教えてください。(1 つ選択)

- 1 女性
- 2 男性
- 3 答えたくない

問 3 婚姻状況を教えてください。(1 つ選択)

- 1 未婚
- 2 有配偶 (法律婚)
- 3 有配偶 (事実婚・内縁)
- 4 離婚・死別

問 4 現在、あなたと同居している家族について伺います。

問 4-1 同居している家族の人数を教えてください。なお、一人暮らしの場合は「0 (ゼロ)」と回答してください。(数字を入力)

() 人

→0 の場合は問 5 へ

問 4-2 同居している家族を教えてください。(複数選択可)

- 1 配偶者 (法律婚、事実婚・内縁)
- 2 子ども
- 3 子どもの配偶者
- 4 孫
- 5 親
- 6 その他 ()

問 4-3 同居している家族の介護について伺います。介護が必要な家族はいますか。(1 つ選択)

- 1 いる
- 2 いない →問 5 へ

問 4-4 介護が必要な同居家族の、主な介護者を教えてください。(1 つ選択)

- 1 あなた自身
- 2 あなたの配偶者 (法律婚、事実婚・内縁)
- 3 その他 ()

問 5 あなたの世帯の収入・生計費について教えてください。

問 5-1 あなたの世帯の生計をまかなう収入源は次のうちどれですか。(複数選択可)

- 1 あなたの収入
- 2 配偶者の収入
- 3 子どもの収入
- 4 あなたの公的年金
- 5 配偶者の公的年金
- 6 財産収入 (家賃・利子・配当金など)
- 7 退職金の取り崩し
- 8 貯蓄の取り崩し
- 9 その他 ()

問 5-2 問 5-1 で選択した番号のうち、主たる収入源を 1 つだけ教えてください。
主たる収入源 ()

問 6 保有している看護関係資格及び専門資格等について伺います。(複数選択可)

問 6-1 保有している看護関係資格を教えてください。(複数選択可)

- 1 保健師
- 2 助産師
- 3 看護師
- 4 准看護師

問 6-2 保有している専門資格等を教えてください。(複数選択可)

- 1 認定看護管理者
- 2 認定看護師
- 3 専門看護師
- 4 特定行為研修終了
- 5 その他 ()
- 6 特になし

問 7 あなたの転職経験について伺います。

問 7-1 あなたは今の職場に勤務するまで、**看護関係資格が必要な職場を何回転職していますか。**看護関係資格を必要としない職場は転職回数には含みません。なお、転職をしていない場合は「0 (ゼロ)」と入力してください。(数字を入力)

() 回

→0 の場合は問 8 へ

問 7-2 今の職場に転職した状況について伺います。どのような方法で転職しましたか。(複数選択可)

- 1 ハローワーク・ハローワークインターネットサービス
- 2 都道府県ナースセンター・e ナースセンター
- 3 民間職業紹介機関
- 4 求人誌・新聞・広告
- 5 職場のホームページの採用情報
- 6 法人や職場からの紹介
- 7 縁故
- 8 紹介予定派遣※
- 9 その他 ()

※紹介予定派遣：派遣元が、直接雇用を前提に派遣先及び派遣労働者と取り決めをしたうえで派遣すること。

問 7-3 転職活動を始めてから、今の職場に転職が決まるまで、どのくらいかかりましたか。(1 つ選択)

- 1 1 か月以内
- 2 2 か月以内
- 3 3 か月以内
- 4 6 か月以内
- 5 1 年以内
- 6 1 年以上

問 7-4 面接した施設・事業所数は何か所くらいですか。(1 つ選択)

- 1 1 か所
- 2 2 か所
- 3 3 か所
- 4 4~5 か所
- 5 6~10 か所
- 6 10 か所以上

Ⅱ現在の雇用状況・勤務実態

問 8 あなたが勤務している職場の所在地を教えてください。(1 つ選択)
所在地 () 都道府県 **【プルダウン】**

問 9 あなたが勤務している職場の種別について伺います。

問 9-1 種別を教えてください。複数の職場に勤務している場合は、調査協力のあった職場について回答してください。(1 つ選択)

- | | | |
|-------------------------|----------|---------|
| 1 病院 400 床以上 | } | 問 9-2 へ |
| 2 病院 200 床以上～399 床以下 | | |
| 3 病院 20 床以上～199 床以下 | | |
| 4 一般診療所 (有床) | } | 問 10 へ |
| 5 一般診療所 (無床) | | |
| 6 訪問看護ステーション | | |
| 7 介護老人保健施設 | | |
| 8 介護老人福祉施設 | | |
| 9 介護療養型医療施設 | | |
| 10 介護医療院 | | |
| 11 上記以外の介護サービス職場 | | |
| 12 社会福祉施設 (介護サービス職場は除く) | | |
| 13 地方公共団体 | | |
| 14 看護師等学校養成所 | →問 9-3 へ | |
| 15 その他 () | →問 10 へ | |

問 9-2 現在の配属部署を教えてください。(1 つ選択)

- 1 病棟
- 2 外来
- 3 診療科 (医局)
- 4 救急・集中治療室
- 5 手術室
- 6 看護管理部門
- 7 教育部門
- 8 材料部
- 9 地域連携・在宅支援部門
- 10 その他 ()

→回答後は問 10 へ

問 9-3 看護師等学校養成所の種類を教えてください。(複数選択可)

- 1 高校衛生看護科
- 2 准看護師養成所
- 3 看護師 2 年課程 (専攻科含む)
- 4 看護師 3 年課程
- 5 看護師 5 年一貫教育校
- 6 保健師養成所
- 7 助産師養成所
- 8 看護系短期大学
- 9 看護系大学
- 10 看護系大学院修士課程
- 11 看護系大学院博士課程
- 12 その他 ()

問 10 現在の業務での主な職種を教えてください。(1 つ選択)

- 1 保健師
- 2 助産師
- 3 看護師
- 4 准看護師
- 5 教員
- 6 その他 ()

問 11 現在の職位を教えてください。(複数選択可)

- 1 一般職
- 2 リーダー
- 3 副主任相当
- 4 主任相当
- 5 副看護師長相当
- 6 看護師長相当
- 7 副看護部長相当
- 8 看護部長相当
- 9 副院長、副施設長、副事業所長
- 10 院長、施設長、事業所長
- 11 助教
- 12 講師
- 13 准教授
- 14 教授
- 15 その他 ()

問 12 あなたの、現在の雇用形態を教えてください。(1 つ選択)

- 1 正規雇用 (フルタイム) →問 13 へ
- 2 正規雇用 (短時間勤務) →問 13 へ
- 3 正規雇用以外 (パート、契約社員、嘱託等) →問 14 へ

<正規雇用が回答>

問 13 あなたが現在働いている職場の労働条件等について伺います。

問 13-1 就業規則等に定められた看護師等 (あなた) の 1 週間の所定労働時間数 (変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間数) は何時間ですか。(数字を入力)

1 週間の週所定労働時間 () 時間 () 分

問 13-2 あなたが現在働いている職場は定年制[※]ですか。(1 つ選択)

※定年制とは、労働者が一定の年齢に達したことを退職の理由とする制度

- 1 定年制である ⇒ () 歳定年
- 2 定年制ではない (定年を廃止した) →問 15 へ

問 13-3 あなたが現在働いている職場の継続雇用制度と制度対象年齢の上限を教えてください。(複数選択可)

- 1 再雇用制度 (定年到達者を一旦退職させ、再び雇用する制度) ⇒上限 () 歳まで
- 2 勤務延長制度 (定年到達者を退職させることなく、引き続き雇用する制度) ⇒上限 () 歳まで
- 3 継続雇用制度を導入していない
- 4 わからない

→回答後問 15 へ

<正規雇用以外が回答>

問 14 あなたの就業状況について伺います。

問 14-1 あなたの職場での就業形態を教えてください。(複数選択可)

- 1 フルタイム正社員に比べ 1 日あたりの労働時間が短い ⇒ 1 日平均 () 時間
- 2 フルタイム正社員に比べ 1 週間あたりの勤務日数が少ない ⇒ 1 週間平均 () 日
- 3 勤務日と時間帯を弾力的に設定できるフレックス勤務
- 4 在宅勤務
- 5 その他 ()

問 14-2 あなたは、選べるのであれば正規雇用を希望しますか。(1 つ選択)

- 1 希望する →問 14-4 へ
- 2 希望しない

問 14-3 正規雇用を希望しない理由を教えてください。(複数選択可)

- 1 働く日数や時間を選べるので
- 2 休みが取りやすいので
- 3 給与よりも自分の生活や自由時間を重視している
- 4 自分のスキルにあった働く場所を選べるので
- 5 体力的にきついので
- 6 健康に問題があるので
- 7 家庭の事情
- 8 責任の重さ・医療事故への不安があるから
- 9 その他 ()

問 14-4 あなたが収入を得ている職場は他にありますか。(1 つ選択)

- 1 ある ⇒当職場以外 () 箇所
- 2 ない (当職場のみ)

<全員回答>

問 15 2023 年(令和 5) 8 月の勤務形態について伺います。

問 15-1 あなたの 2023 年(令和 5) 8 月の主な勤務形態を教えてください。(1 つ選択)

- 1 日勤のみ →問 16 へ
- 2 日勤・夜勤両方
- 3 夜勤専従

問 15-2 あなたの 2023 年(令和 5) 8 月の夜勤回数と 1 回あたりの勤務時間(休憩時間含む)を教えてください。なお、8 月に夜勤をしていない場合は「0(ゼロ)」と回答してください。(数字を入力)

8 月の夜勤回数 () 回・1 回あたりの勤務時間 約 () 時間

問 16 あなたの収入について伺います。

問 16-1 2023 年(令和 5) 8 月の賃金等収入はいくらでしたか。複数の職場で就労している場合には合計金額を教えてください。(1 つ選択)

※税込み金額。各種手当を含む。但し、通勤手当など現物給付、賞与等は含まない。

※自営業の場合は売上高から諸経費を差し引き、月割にならして算出してください

- 1 収入はなかった
- 2 ～5 万円未満
- 3 5 万円～10 万円未満
- 4 10 万円以上～15 万円未満
- 5 15 万円以上～20 万円未満
- 6 20 万円以上～25 万円未満
- 7 25 万円以上～30 万円未満
- 8 30 万円以上～40 万円未満

- 9 40 万円以上～50 万円未満
10 50 万円以上

問 16-2 2022 年の年間の賞与（税込み）はいくらでしたか。（1 つ選択）

- 1 賞与の支給はなかった
2 ～25 万円未満
3 25 万円以上～50 万円未満
4 50 万円以上～75 万円未満
5 75 万円以上～100 万円未満
6 100 万円以上～150 万円未満
7 150 万円以上～200 万円未満
8 200 万円以上

問 17 現在の仕事や職場環境について伺います。

問 17-1 あなたは、現在の職場での就労に対し、どのように感じていますか。（それぞれ 1 つ選択）

	満足している	満足している どちらかというと	どちらともいえない	満足していない どちらかというと	満足していない
① あなたの仕事の内容	1	2	3	4	5
② あなたの役割・職位	1	2	3	4	5
③ あなたの給与	1	2	3	4	5
④ あなたのワークライフバランス	1	2	3	4	5
⑤ あなたの職場環境	1	2	3	4	5
⑥ 総合的な就労に対する満足度	1	2	3	4	5

問 17-2 あなたの職場では、55 歳以上でも働きやすいよう、どのような職場環境整備を行っていますか。（複数選択可）

- 1 労働時間や労働日数など本人が希望する働き方ができるよう配慮している
2 介護など家庭の事情や本人の健康上の問題を考慮した働き方を認めている
3 慣れている仕事に継続して配置している
4 配属部署の配置換えをしている
5 身体的に負担の少ない仕事に配置している
6 若手やミドル層のサポートやバックアップとして配置している
7 メンタルバランスが維持されているか定期的に確認している
8 腰痛や認知症など特別な健康診断を実施している
9 業務改善等業務負担を軽減する取組を進めている
10 設備や作業環境の改善を進めている
11 研修等スキルの維持・向上を支援している
12 上司と定期的に話し合える・相談する場を設けている
13 管理職経験者の意識改革研修を行っている
14 その他（ ）
15 特に上記のような配慮はない

<全員が回答>

問 18 今後の就業について伺います。

問 18-1 あなたは現在勤務している職場で今後も働きたいと思えますか。(1 つ選択)

- 1 今後も現在の職場で働き続けたい ⇒ () 歳頃まで →問 19 へ
- 2 他の職場に転職したい →問 18-3 へ
- 3 仕事を辞めたい →問 18-2 へ

問 18-2 **仕事を辞めたい理由**を教えてください。(複数選択可)

- 1 もう十分に働いたので、引退して好きなことをしたい
- 2 生活の目処が立ったので(年金が支給されるなど)
- 3 体力的にきついので
- 4 健康に問題があるので
- 5 家庭の事情
- 6 責任の重さ・医療事故への不安があるから
- 7 その他 ()

→回答後問 19 へ

問 18-3 **転職したい理由**を教えてください。(複数選択可)

- 1 やりたい仕事ができないから
- 2 役割に納得がいけないから
- 3 賃金が安いから
- 4 時間外労働時間が多いため
- 5 休暇がとれない・とりづらいため
- 6 夜勤の負担が大きいから
- 7 責任の重さ・医療事故への不安があるから
- 8 通勤に時間がかかるので
- 9 その他 ()

問 18-4 転職先として考えている職場があれば教えてください。(複数選択可)

- 1 病院 400 床以上
- 2 病院 200 床以上～399 床以下
- 3 病院 20 床以上～199 床以下
- 4 一般診療所(有床)
- 5 一般診療所(無床)
- 6 訪問看護ステーション
- 7 介護老人保健施設
- 8 介護老人福祉施設
- 9 介護療養型医療施設
- 10 介護医療院
- 11 上記以外の介護サービス職場
- 12 社会福祉施設(介護サービス職場は除く)
- 13 地方公共団体
- 14 看護師等学校養成所
- 15 その他 ()

問 19 あなたが、**最終的に**仕事を辞めるだろうと考える、おおよその年齢を教えてください。
() 歳頃仕事を辞める予定

問 20 あなたが働き続けるために、最も重視していることを教えてください。(3 つまで選択)

- 1 自分のスキルにあった仕事内容である
- 2 賃金に納得できる
- 3 労働条件が希望にあう(労働時間・労働日数)
- 4 休みがとりやすい

- 5 時間外労働時間が少ない
- 6 体力的に楽な業務である
- 7 職場の雰囲気や人間関係がよい
- 8 家庭や健康上の事情を考慮した働き方を認めてくれる
- 9 通勤時間が短い
- 10 その他 ()

Ⅲ 定年前から現在までの雇用・勤務状況

問 21 定年について伺います。

問 21-1 あなたはこれまでに看護師等として定年年齢に達し、定年[※]した経験がありますか。(1つ選択)

※定年とは、労働者が一定の年齢に達したことを退職の理由とする制度

- 1 定年年齢前である
- 2 現在勤務している職場で、定年を経験した →問 22 へ
- 3 他の職場に勤務していた際に、定年を経験した⇒ () 歳定年 →問 22 へ
- 4 定年年齢を超えているが、定年を経験しないまま、現在に至る →問 29 へ

問 21-2 今までに現在の職場から継続雇用制度（再雇用・勤務延長）について、説明はありましたか。(1つ選択)

- 1 あった
- 2 なかった
- 3 覚えていない

問 21-3 あなたは、定年時に継続雇用を希望しますか。現在の職場の制度の有無にかかわらず、あなたの希望を教えてください。(1つ選択)

- 1 再雇用制度を希望したい
- 2 勤務延長制度を希望したい
- 3 継続雇用制度（再雇用・勤務延長）は希望しない
- 4 分からない

→回答後問 28 へ

<定年経験者が回答>

問 22 定年時に、退職金（一時金）[※]は支給されましたか。支給された場合、金額はどのくらいでしたか。(1つ選択)

※退職一時金制度とは、退職時に一括で支払われる退職金のこと

- 1 支給されなかった
- 2 ～100 万円未満
- 3 100 万円以上～200 万円未満
- 4 200 万円以上～300 万円未満
- 5 300 万円以上～400 万円未満
- 6 400 万円以上～500 万円未満
- 7 500 万円以上～600 万円未満
- 8 600 万円以上～700 万円未満
- 9 700 万円以上～800 万円未満
- 10 800 万円以上～900 万円未満
- 11 900 万円以上～1000 万円未満
- 12 1000 万円以上
- 13 勤務延長中で、まだ受け取っていない

問 23 定年時の離職について伺います。

問 23-1 あなたは定年をきっかけに、離職を考えましたか。(1つ選択)

- 1 離職は考えなかった →問 24 へ

- 2 離職は考えたが、仕事をつづけた →問 24 へ
- 3 一度離職した

問 23-2 あなたは定年で離職した後、失業保険を受給しましたか。(1 つ選択)

- 1 受給した ⇒ () 日分
- 2 受給しなかった

問 23-3 あなたが、再就職した理由を教えてください。(3 つまで選択)

- 1 失業保険が切れたので
- 2 生活費や家族を養うため
- 3 働くことが好きだから
- 4 時間があるから
- 5 体調がよくなったから
- 6 看護関係資格や看護職のスキルを活かしたかったから
- 7 社会とつながっていたかったから
- 8 知人等に依頼されたから
- 9 その他 ()

→回答後は問 26 へ

問 24 定年時の継続雇用制度の整備状況と活用状況について伺います。

問 24-1 定年時、その職場には継続雇用制度（再雇用・勤務延長）はありましたか。（複数選択可）

- 1 再雇用制度があった →問 24-2 へ
- 2 勤務延長制度があった →問 24-3 へ
- 3 継続雇用制度（再雇用・勤務延長）はなかった →問 26 へ
- 4 覚えていない →問 26 へ

<再雇用制度があった場合に回答>

問 24-2 あなたは定年後、再雇用制度を希望しましたか。(1 つ選択)

- 1 希望し、継続雇用された →問 25 へ
- 2 希望したが、条件が合わず、継続雇用されなかった →問 27 へ
- 3 希望しなかった →問 27 へ

<勤務延長制度があった場合に回答>

問 24-3 あなたは定年後、勤務延長制度を希望しましたか。(1 つ選択)

- 1 希望し、継続雇用された →問 25 へ
- 2 希望したが、条件が合わず、継続雇用されなかった →問 27 へ
- 3 希望しなかった →問 27 へ

<問 24-2 または問 24-3 「1.希望し、継続雇用された」場合に回答>

問 25 継続雇用制度における、仕事の内容や責任の変化について伺います。

問 25-1 仕事の内容は変わりましたか。(1 つ選択)

- 1 定年前とまったく同じ仕事
- 2 定年前と一部異なる仕事
- 3 定年前と概ね異なる仕事

問 25-2 責任は変わりましたか。(1 つ選択)

- 1 責任が軽くなった
- 2 責任に変わりはない
- 3 責任が重くなった

問 26 定年後の賃金[※]について伺います。

問 26-1 定年前（退職前）の月額賃金と比べて、現在の月額賃金はどのように変化しましたか。月の賃金の変化を（1つ選択）

※税込み金額。各種手当を含む。但し、通勤手当など現物給付、賞与等は含まない。

※自営業の場合は売上高から諸経費を差し引き、月平均を算出してください

- 1 月額賃金額は減少した →おおよそ（ ）万円減少した
- 2 月額賃金額はあまり変化していない →問 28 へ
- 3 月額賃金額は増加した →おおよそ（ ）万円増加した →問 28 へ

問 26-2 定年後、賃金がかかることについて、職場から事前にどのような説明がありましたか。（複数選択可）

- 1 在職老齢年金や高年齢雇用継続給付が出るので、実質的な収入は変わらない
- 2 仕事の責任や負担が軽くなるので、前と同じ賃金は払えない
- 3 役職からはずれるので、前と同じ賃金は支払えない
- 4 雇用確保（高年齢者雇用安定法）のため継続雇用するので、前と同じ賃金は支払えない
- 5 その他
- 6 特に説明はなかった

問 26-3 賃金額が減少したことで、仕事に対するモチベーション（やる気）に変化はありましたか。（1つ選択）

- 1 変わらない
- 2 やや下がった
- 3 下がった
- 4 かなり下がった

問 26-4 賃金下がったことについて、あなたはどう思いましたか。（複数選択可）

- 1 在職老齢年金や高年齢雇用継続給付が出るからといって、賃金を下げるのはおかしい
- 2 仕事の内容がほとんど変わっていないのに、賃金下がりがすぎだ
- 3 仕事の責任や負担がほとんど変わっていないのに、賃金下がりがすぎだ
- 4 役職からはずれるからと言って、賃金下がりがすぎだ
- 5 職場への貢献度が下がったわけではないのに、賃金下がりがすぎだ
- 6 仕事の内容が変わったので、賃金下がるのは仕方ない
- 7 仕事の責任や負担が変わったので、賃金下がるのは仕方ない
- 8 役職からはずれるので、賃金下がるのは仕方ない
- 9 職場への貢献度が下がったのでわけで、賃金下がるのは仕方ない
- 10 定年後も継続雇用が保証されるので、賃金下がるのは仕方ない
- 11 その他（ ）

→回答後問 28 へ

<問 24-2 または問 24-3 「2.希望したが、条件が合わず、継続雇用されなかった」「3.希望しなかった」が回答>

問 27 継続雇用に至らなかった条件や継続雇用を希望しなかった理由を教えてください。（複数選択可）

- 1 自分のやりたい仕事ができなくなるから
- 2 役割に納得がいかなかったから
- 3 賃金が安くなるから
- 4 労働条件（労働時間・労働日数）が合わなかったから
- 5 職場の雰囲気や人間関係がよくなかったから
- 6 余剰人員扱いされたから
- 7 他の職場に転職したかったから
- 8 継続雇用制度の基準に合致しないと思い、希望を申し出しなかったから
- 9 その他（ ）

<定年年齢前及び定年経験者が回答>

問 28 あなた自身が定年に向けて取り組んでいる/取り組んだ準備（知識や技能の向上）について伺います。定年を意識してご自分の職業能力について考えたり、職業能力のために何かに取り組んだりしたことはありますか。（複数選択可）

- 1 資格取得について調べた →資格名（ ）
- 2 資格を取得するために独学で勉強した →資格名（ ）
- 3 資格を取得するために試験を受けた →資格名（ ）
- 4 資格を取得するために学校に通ったり、通信講座を受講したりした
- 5 都道府県ナースセンターが開催する研修を受講した
- 6 都道府県ナースセンター以外の組織が開催する研修を受講した
- 7 過去の職歴を振り返って、自分なりに自分の職務能力について考えた
- 8 転職について調べた
- 9 その他（ ）
- 10 特に取り組んだことはない

IV 65 歳以降の就業に向けて

問 29 65 歳以降も就業するには、どのようなことが必要だ（役立つ）と思いますか。（複数選択可）

- 1 仕事の専門知識・技能があること
- 2 専門性よりはいろいろな仕事ができる能力や幅広い経験
- 3 協調性、周囲とのコミュニケーションが取れること
- 4 仕事に取り組む真摯な態度
- 5 いつまでも現役で活躍するという意欲
- 6 健康・体力を保つ工夫をすること（健康診断や生活習慣改善など）
- 7 幅広い人脈、知り合いが多いこと
- 8 過去の転職経験
- 9 定年前から、定年後を意識した準備（転職やスキルアップ）を用意周到に進めること
- 10 高年齢者はなかなか就職（転職）できないので、慣れた職場で働くこと
- 11 家族の理解を得ること
- 12 家族の事情（介護など）と両立できるよう準備を進めること
- 13 その他（ ）

問 30 ご自身の体力など（体力、視力や記憶力など）の低下で、仕事上、不都合を感じていますか。（1つ選択）

- 1 そうした体力などの問題はまだまだあまり感じたことない
- 2 体力などの衰えはあるが、仕事をする上では特に不都合はない
- 3 やや不都合を感じている
- 4 体力や記憶力などが原因で、仕事上、少し失敗したことがある
- 5 かなり不都合があり、仕事を辞めることも考え始めている

問 31 今後、高年齢者看護師等がより一層活用するにあたって、どのような支援が必要だと思いますか。具体的にご記入ください。

V インタビューご協力のお願い

55 歳以上でも働き続けることができるヒントを具体的にお聞きするために、インタビューをさせていただきたいと考えております。インタビュー所要時間は 1 時間程度、Zoom 等を使いリモートにて実施させていただきます（アプリ等のダウンロードは不要）。インタビューにご協力いただき、その内容について、厚生労働省の報告書に掲載、また今後の資料として活用することにご承認いただける場合、ささやかではございますが謝礼をお渡し致します。

【問い合わせ先】

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 日本能率協会ビル 5F
株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部 本件担当：川村、政岡
電話.0120-304-603 または 03-3578-7677（平日 10-17 時のみ）

問 32 あなたの意向を教えてください。

- 1 日にちが合えばインタビューを受けてもよい
- 2 インタビューは辞退する →終了

問 33 ご連絡先をお知らせください。なお、お預かりした個人情報は、本件以外には使用いたしません。

お名前（ふりがな）	
ご所属機関	
連絡が取れる職場のお電話番号	
メールアドレス	

ご協力ありがとうございました。